

みんな集まれ

目指せ!ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)宣言



このままでいいの? 私たちの「ごみ」

「脱焼却・脱埋立・容器包装リサイクル法改正を求める」静岡県民集会

日時 (日)午後1時30分~4時30分(開場午後1時)

場所 アイセル21 一階大ホール

基調提案 ゼロ・ウェイスト宣言を目指して 1:40~

講演 1:55~3:10

講師 服部美佐子 氏(略歴裏面参照)

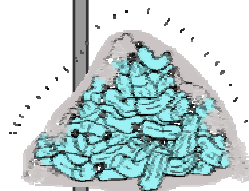
(「ごみ環境ビジョン21」理事 容リ法改正全国ネット 事務局)

報告 3:30~

静岡県下各地の活動報告

講師を交えての討論、会場からの質問・意見交換・集会決議

資料代 500円



<ゴミゼロ市民サミット>

日時 (日)午前10時~12時(開場午前9時30分)

場所 アイセル21 4階41集会室

主催 ゴミゼロ(5.30)サミット2004実行委員会

賛同団体 志太ゼロウェイスト市民ネット、「ゴミゼロ静岡」市民ネットワーク、清水のゴミを考える会、由比ゴミをなんとかしよう会、天竜市消費生活研究会、たんぼぼの会(浜北市)、ぐるーぶ・みるめ(静岡市)、プラムフィールド(静岡市)、富士宮グリーンパーク、静岡市消費者協会、エコパ御殿場、静大環境サークル「リアカー」、環境林産汚染をなくす会(静岡市)、瀬名環境グループ(静岡市) NPO法人リサイクル運動市民の会静岡県本部、浜松市ごみ減量やらまい会、しみず地球村、環境会議やいづエコ999倶楽部、生活クラブ生協(04年5月23日現在) 賛同団体募集中

連絡先 054-257-3177(静岡 壺阪)054-645-4425(藤枝 田中)0543-643-1273(清水 静岡リサイクル協会)0543-75-5498(由比 田辺)

後援 静岡県・朝日新聞静岡総局・NHK静岡放送局

<参考資料>

容器包装リサイクル法とは
1995年に制定された法律

容器包装を作る事業者(容器メーカー)、中味の事業者(飲料メーカーなど)、容器包装を利用して販売する事業者(スーパー、コンビニなど)...に容器のリサイクルを義務付ける法律。97年から「ペットボトルとびん」2000年からペットボトル以外の「プラスチック製容器包装」と「紙製容器包装」が対象になり、完全施行されました。

容器包装リサイクル法のここが問題
市民にとって

ごみを出す人も出さない人も同じ負担、ごみ減量をしている人が報われない。

事業者にとって

使い捨て容器を使った方が、費用の負担が少ないので真剣にリデュース、リユースに取り組めない。

自治体にとって

一生懸命リサイクルに取り組むほど「リサイクル貧乏」に陥り、とても困っている。

ゼロ・ウェイスト(ゴミゼロ)宣言

カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、ヨーロッパで広がる自治体単位で、2020年にごみ焼却・埋立ゼロを宣言し、行動計画を立てている。

日本では徳島県上勝町で同宣言がなされ、日本中から注目されている。

<講師略歴>

服部美佐子 氏(東京生まれ/府中市在住)
環境カウンセラー(環境省)。

92年より日の出処分場問題に関わり、多摩地域で「三多摩・自区内処理を実現する市民プロジェクト」を発足、代表を務める。

98年「ごみ・環境ビジョン21(現NPO法人)」を発足。事務局長を経て、現在理事として情報誌の執筆、ファストフードの使い捨て容器を見直す「ごみ探偵団」、容器包装リサイクル法改正運動などを担当。

02年度三鷹市市民大学連続講座、04年金沢大学21世紀COE-IICRC国際シンポジウムほか、自治体、生協などで学習会の講師を勤める。「リサイクルの落とし穴」「ごみ処理の税金負担から事業者責任責へ」など雑誌や冊子等に執筆。

03年11月24日朝日新聞

2020年ごみゼロ宣言

目標リサイクル100% 徳島県上勝町の試み



日本初のゼロ・ウェイスト宣言

上勝町ごみゼロ(ゼロ・ウェイスト)行動宣言<要旨>

2003年9月19日

2020年までに上勝町は
焼却・埋立処理を全廃するよう努める。
ごみの発生率を最小に、回収率を最大にできる
「教育システム・分別回収システム」の構築をめざす

国・県に対して

ごみの発生を抑制するために
期限付きの高い目標設定を求める
拡大生産者責任の徹底等
法律や条令の改正整備と
制度の早期確立を求める

企業に対して

製品の再利用、再資源化などの
再処理経費を、商品に内部化して
負担する制度の確立を求める
分別回収、再利用、再資源化が
容易な製品への切替えを求める

日本国内の
他の市区町村に対して 同様の目標設定・協力体制
積極的な情報交換を求める